

一関工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	国語Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0001			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般科目			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：現代文 B（筑摩書房）						
担当教員	津田 大樹						
到達目標							
①日本語の表記・語彙・構文・語法を正確に理解し表現できる ②言葉の歴史的・文化的背景を踏まえながら表現を理解し自分の考えをまとめることができる ③論理的な文章を読み構成や記述内容を的確に理解することができる 【教育目標】B・E							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
日本語の表記・語彙・構文・語法を正確に理解し表現できる		日本語の表記・語彙・構文・語法を正確に理解し表現できる		日本語の表記・語彙・構文・語法の概要を理解し表現できる		日本語の表記・語彙・構文・語法を正確に理解、表現できない	
言葉の歴史的・文化的背景を踏まえながら表現を理解し自分の考えをまとめることができる		言葉の歴史的・文化的背景を踏まえながら表現を理解し自分の考えをまとめることができる		言葉の歴史的・文化的背景を踏まえながら表現の概要を理解し自分の考えをまとめることができる		言葉の歴史的・文化的背景を踏まえながら表現を理解し自分の考えをまとめることができない	
論理的な文章を読み構成や記述内容を的確に理解することができる		論理的な文章を読み構成や記述内容を的確に理解することができる		論理的な文章を読み構成や記述内容の概要を理解することができる		論理的な文章の構成や記述内容を的確に理解することができない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	教材の文章の読解と考察を通して、日本語の理解力と表現力を身につける						
授業の進め方・方法	授業はプリントと教科書にもとづいて進める						
注意点	【事前学習】授業で学習する内容について事前に予習しておくこと。また関連する課題について自主的に発展的に学ぶように努めること。 【評価方法・評価基準】試験結果(100%)で評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。総合成績60点以上を単位修得とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	表現：文字と表記 1		仮名遣い、同音異義語など日本語の正確な表記ができる		
		2週	表現：文字と表記 2		漢字語彙の正確な識別と表記ができる		
		3週	表現：文字と表記 3		熟字や時事用語などの正確な理解と表記ができる		
		4週	表現：語彙 1		否定詞、対義語など語彙の正確な識別と表現ができる		
		5週	表現：語彙 2		歴史地理など社会的知識をふまえて正確な語彙の理解と表記ができる		
		6週	表現：語彙 3		熟語や漢字の書き分けなど正確な表記ができる		
		7週	古典：万葉集巻 1 雑歌		歴史的資料を踏まえ論拠に基づいて表現の理解ができる		
		8週	課題作成		新聞やインターネットなどのメディア情報を収集選択し自分の考えを口頭で表現できる		
	2ndQ	9週	古典：万葉集巻 1 雑歌		歴史的資料を踏まえ論拠に基づいて表現の理解ができる		
		10週	古典：万葉集巻 2 相聞		歴史的資料を踏まえ論拠に基づいて表現の理解ができる		
		11週	古典：万葉集巻 2 挽歌		歴史的資料を踏まえ論拠に基づいて表現の理解ができる		
		12週	現代文：評論 1		論理的な文章を読み語句表現を正確に理解できる		
		13週	現代文：評論 2		論理的な文章を読み自分の考えをまとめて発表できる		
		14週	現代文：評論 3		他者の視点を理解し自分の考えを論理的に構築し発表できる		
		15週	期末試験				
		16週	まとめ		これまでの授業を総括し学習内容を確認できる		
後期	3rdQ	1週	表現：語彙 4		慣用句、成語の正確な理解と表現ができる		
		2週	表現：語彙 5		慣用句、成語の正確な理解と表現ができる		
		3週	表現：語彙 6		時事的な知識をふまえて外来語の正確な理解ができる		
		4週	表現：構文と語法 1		主述、係り受けなど日本語の構文が正確に理解できる		
		5週	表現：構文と語法 2		非文章語、構文不整合を正確に判断し正しく表現できる		
		6週	表現：構文と語法 3		敬語の正確な理解と表現ができる		
		7週	古典：古事記概説・天地初発		歴史的資料を踏まえ論拠に基づいて表現の理解ができる		
		8週	課題作成		新聞やインターネットなどのメディア情報を収集選択し自分の考えを口頭で表現できる		
	4thQ	9週	古典：古事記伊邪那岐と伊邪那美		歴史的資料を踏まえ論拠に基づいて表現の理解ができる		

	10週	古典：古事記八俣大蛇	歴史的資料を踏まえ論拠に基づいて表現の理解ができる
	11週	古典：古事記大国主命	歴史的資料を踏まえ論拠に基づいて表現の理解ができる
	12週	現代文：：評論 1	論理的な文章を読み語句表現を正確に理解できる
	13週	現代文：：評論2	論理的な文章を読み自分の考えをまとめて発表できる
	14週	現代文：：評論3	他者の視点を理解し自分の考えを論理的に構築し発表できる
	15週	期末試験	
	16週	まとめ	これまでの授業を総括し学習内容を確認できる

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		前期期末試験	後期期末試験	合計	
総合評価割合		50	50	100	
日本語表現		20	20	40	
古典		15	15	30	
論理的文章		15	15	30	